



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

自治体や中小企業のさまざまな IT の
お悩みをベテラン集団が解決

NPO 電子自治体アドバイザー・クラブ
法人 e-AAC

第 34 号

2025 年 10 月 発行

<https://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

未来を見せる AI 万博

みなさん、関西万博 2025 には行けましたか。シニア族にとっては会場の広さとデジタルツールに疲れます。今回の万博は「デジタル万博」と言われ、至る所にデジタル技術革新の発信（現物や映像）・展示がされています。万博というのは世界各国から未来に向けての課題解決や技術発信をするイベントです。そういうところに目を向けて万博を楽しむとまた違った風景が見えてくるのではないのでしょうか。1970 年に我々の世代は大阪万博を経験しています（私は中学生でした）が、この段階ではまだ技術紹介や国威発揚が根底にありました。現在ではこの意義が見直され、1994 年に地球規模の課題解決を目的とする今日的なテーマ設定が義務化されました。今回の関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。いのちをテーマにしたパビリオンや展示・映像が多いですね。1970 年大阪万博この時、お目見えした缶コーヒーや回転ずし、動く歩道、ファーストフード、携帯電話等はすべて実現し普及しています。凄いですね。近未来を見せていたわけですね。私なんかこの時 IBM 館と三菱未来館に感銘を受け、今の IT の世界に入ったわけですね。そう考えれば子供の未来にも影響するわけです。関西万博 2025 のデジタル技術も地球規模の課題解決をするツールとして活躍しており、日本の国家戦略「Society5.0」にも通じています。

「Society5.0」はサイバー空間と現実空間を高度に融合し、AI や IoT、ロボティクスなどの先端技術を活用することで、経済成長と社会課題の解決を両立する次世代型の人間中心社会のことです。その中核をなすのが AI 技術であることは間違いありません。今回の万博で活躍している AI アプリの一つに「来場支援アプリ」があります。自分の趣味や嗜好、経験したい事項や見たいものなどをスマホに入力すると、どこをどのように回ればいいのか、地図を表示し、経路・行くまでの時間・混み具合まで紹介してくれるものです。AI がスマホに入力された内容を分析し、表示します。他に「アバター案内システム」、「EXPO 翻訳システム」、「EXPO 同時通訳システム」、AI とロボットの協働による「ロボット案内システム（ugo）」、事業アイデアを協創する生成 AI システム「ミライのタネ」などが紹介されています。いずれも IT 先端技術をもつ企業からの発信です。

医療関係の IPS 細胞の進化にもこの AI が不可欠でしょう。これからますます長寿社会を迎える日本、国家戦略「Society5.0」のいのちを輝かせる社会を協創してもらいたいものです。



事務局長 吉川和美

トピックス！

1. 組織改編

第一部会と第三部会を統合し新第一部会と呼称し、旧第一部会の活動を行政 DX の支援活動、旧第三部会の活動を市民 DX の支援活動として業務推進する。

2. 人事 新組織体制に絡み人事を発令

藤村副理事長—新第一部会を担当
新任理事 田中眞澄、田中伸和、前田忠信
退任理事 吉岡正實、河田照信、渡辺孝

3. AI 関連講習

AI 関連の講習会を幹部向けに川西町で初実施。同様の講習会を山添村、下市町に提案。

4. IT リテラシー講習の県からの受託件数大幅増

24 年度 8 件 ==> 25 年度 9 月末時点で受託 19 件。

5. 黒字経営に向けた基本方針の徹底

- ・黒字経営に向けた基本方針を 6 月に理事長より徹底。
 - 1, 事業単位に黒字運営をめざす
 - 2, 総合収支において黒字をめざす。
 - 3, 徹底した効率運営（経費削減、見直し取り組み）

6. みんなのページ

5 ページ目をご覧ください。

7. 住友生命相互保険(株)募集:

「未来を強くする子育てプロジェクト」に応募。
審査結果発表: 2026 年 1 月

「第1部会」からの報告 (1)行政 DX の支援**行政 DX の取組み****1. 自治体会員への『ちょっとアドバイス』**

自治体会員を定期的に訪問して、自治体が抱えている課題についての提言・提案を行っている。

- ・会員:明日香村、下市町、
- ・集計期間:2025 年
4 月～9 月

分野	件数
行政システム	16
地域サービス	7
テクノロジー	8
合計	31

2. 地域情報化支援事業**(1)明日香村****■ ちょっとアドバイス**

2025 年 4 月～9 月:12 件

■ 職員向け ICT 関連**①職員向ワード講習会(対象者:新採職員8名)**

開催日程:9月10日、24日、25日、10月2日(4日間)

②職員向何でも相談会実施の件

開催日程:10月14日(火)

◆後半実施時期は2月とし、後日検討とする。

③生成 AI 推進について

・IT 担当の2名に生成 AI について研修を始める。

※庁舎職員向には別途検討する。

■ 村民向けICT関連講座**① 村民向スマホ講座**

・実 施 日:7 月3日、8日、11日、17 日

・参加人数:11.5 名(平均)、(延べ参加:46 名)

② 村民向何でも相談会

開催日程:10月7日(火)

③ 村民向老人会向けスマホ講座

老人会の連絡網を LINE アプリで行う研修

・開催日:10 月～12 月、3 カ所 2 回

■ 世界遺産プロポーザル審査委員を委嘱

審査委員に委嘱されて、8月1日に実施された。

(2) 下市町**■ ちょっとアドバイス**

2025 年 4 月～9 月;19 件

■ 生成 AI の研修会

- ・下市町生成 AI 導入講座ヒアリングの実施
- ・秋頃、実施の予定

(3) 天理市**■ 令和 7 年度天理市職員向け IT リテラシー向上研修****● 研修プログラム概要:**

- ・明日の市役所を創るための IT リテラシー向上
- ・AI 活用による業務効率化をめざし、若手職員が実践的スキルと DX 推進に必要なマインドセットを身につける。

● 対象者: 市役所若手職員 6 名**● 研修時間: 各回 120 分 開催: 月 1 回 /9 回****● 各講座の概要(6 月～2 月)****第 1 回:なぜ DX?なぜ AI?**

- ・ DX の本質と市民価値(CX)の重要性、動機付け

第 2 回:デザイン思考とは、業務効率化の基本

- ・ 業務プロセスにおける「ムダ」をなくす

第 3 回:AI のキホン ～生成 AI の仕組み～

- ・ 生成 AI の仕組みを理解し、プロンプトを作成。

第 4 回:AI 活用実践 ① チャット AI で仕事が変わる!

- ・ チャットツールを使い、業務の効率化を体感する。

第 5 回:AI 活用実践 ② Gamma でプレゼン資料作成

- ・ AI 作成ツール(Gamma)を使うスキル。

第 6 回:AI 活用実践 ③ Gemini と Web 検索でレポート

- ・ AI の情報収集・分析能力を活用し、報告書作成。

第 7 回:AI 活用実践 ④ AI エージェントの未来

- ・ 複数の AI ツールの応用例や、AI 活用に触れる。

第 8 回:AI の未来と私たちの働き方 ～今後のトレンド

- ・ 行政における AI 活用可能性や職員の心構え。

第 9 回:研修の総括と DX 推進のマインドセット

- ・ 研修全体を振り返り、マインドセットの変革を促す。

**(4) 新規自治体の開拓:山添村****■ 山添村役場の AI 利用状況について**

- ① 職員は、生成 AI をなかなか使おうとしない。
- ② 業務量が多くて AI を検証する余裕がない。
- ③ 次の3か年総合計画に、AI 活用を盛り込みたい

■ eAAC より、二通りの AI 講習会提案を提出。**3. 地域活動**

Grafsec :8/30 第 10 回全国会員連絡会議 (Zoom)

「第1部会」からの報告 (2)地域 DX の支援

スマホは主にシニア向けに、パソコンは学生やシニア向けに実施しており、受託事業と自主事業の二本立てで推進中。特にスマホについては、スマホが世の中に浸透していく中で、シニア向けのスマホの使い方支援が非常に重要な課題になってきている。このためスマホ教室を実施することに加えて、地域でスマホを教えることができる地域スマホリーダーの育成のための講座も実施している。

■ 受託 パソコン・スマホ教室

1. NAFIC パソコン講座

奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校（通称 NAFIC）から委託を受けて実施中。5～6 月は2年生を対象にエクセルとPP（パワーポイント）を学習。最終日にはPPで各自資料づくり、成果発表を行った。9～10 月は1年生を対象に実施中。

対象	期間	内容	定員	回数・日時
2 年生	5/2～6/27	エクセル、PP	20 名	・各 8 回 ・毎週実施
1 年生	9/5～10/31	ワード、エクセル	20 名	・13:00～16:10



2. 天理市パソコン教室（初級コース）

天理文化センターでシニアのパソコン初心者を対象に上期は7/24～8/8に実施（11名）。下期は11/20～12/10を予定（各6回コース）。

3. 耳成公民館スマホ教室

橿原市耳成公民館で上期は4/19～8/2に8回コースとして実施。下期も10/4～2/21に8回コースと実施予定。回数が多く、いろんなアプリを実施している。

4. 天理市スマホ教室

天理文化センターで主にシニアを対象に上期（10/9,16,29）、下期（未定）に分けて実施予定（各3回コース）。共に内容は同じでネット検索・セキュリティとLINE。

5. 経済倶楽部スマホ教室

奈良県経済倶楽部から委託を受け主に奈良県のシニアを対象に上期に（7/2～30）基礎コースとして実施（基本機能と

LINE、4回コース、16名参加）。下期（1/9～2/20）は応用コースを開催予定（4回コース）。



6. シルバー人材センタースマホ教室

奈良市シルバー人材センターから委託を受け、同センターの登録者を対象にアンドロイドに限定してアプリを主体にしたスマホ教室を実施。上期は18/27～9/17に3回実施予定（各回異なった受講者で各10名の参加）。下期も別のアプリを3回実施の予定。

7. 三郷町スマホメンター養成講座

スマホの分からないシニアが気軽に相談できる人材（メンター）の育成を目的とした講座。メンター候補者がメンター養成講座で先に受講（10/20～2/13、5回コース）。1週間後に同じ内容で一般受講者向けのメンター実施講習講座（10/17～2/20）で、メンター候補者が一般受講者サポートする。サポートを体験することにより地域のスマホリーダーとして活動できる人材の育成を図る。各5回コースの講座。

■ e-AAC スマホ・パソコン教室（自主事業）

e-AAC 主催の教室で、市の広報誌に受講案内を掲載することにより受講生の確保を図っている。

1. 高田教室：大和高田市産業会館（水曜日）

中級者向けにパソコン教室を産業会館で、上期・下期、各12回実施中（2回/月、上期は各回約11名参加）。内容はパソコンの保守から動画編集など多岐に亘っている。

2. 学園前教室：奈良市西部公民館（木曜日）

初心者を対象にスマホ基礎コースを年に3期に分け実施中（4-6月、9-11月、1-3月、各期は6回コース）。アンドロイド限定で高齢者を中心にゆっくりしたペースで分かりやすい内容にして実施中。

3. 天理中級教室：天理市民会館

天理中級教室は天理市パソコン教室（初級コース）の受講者のスキルアップを図ることを目的に実施中（9/1～29、6回コース）。

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

児童・生徒を対象に、パソコンの講座やインターネットリテラシーの講演等の活動を行っている。

1. インターネットリテラシー講座

奈良県教育振興課から受託事業

小学校から高等学校の児童・生徒・教職員および保護者を対象に、学校へ出向いて講座を行っている。

本年度は、県の募集件数増加もあり、昨年度より多くの講座を開講している。9月末受託19校中16校にて開講済み。

受講者数(見込み) (単位:校・名)

学校	校数	児童生徒	教職員	保護者	受講者計
小学校	13	992	117	170	1,279
中学校	3	881	75	0	956
高校	3	962	36	0	998
計	19	2,853	228	170	3,233



2. 学校パソコンクラブ支援講座

小学校のパソコンクラブの活動を支援している。学校の授業では、取り上げが難しい課題に取り組んでいる。

学校名	回数	内 容
佐保台小学校	6	ScratchとMicrobitでゲーム作り
生駒東小学校	7	



3. 子どもゆめ基金講座(33 回開講)

今年度は、6講座が助成を受けられることになった。中学生向け Python 講座を新規開講する。

(1) プログラミング体験講座(13 回開講)2～6年生対象

今年度は、2. 3 年生の講座に加えて、4～6年生向けの講座を開講する。Scratch でプログラミングを行う。

2・3年生は「Colourful City」で基本操作を、4～6年生はゲーム作りでプログラミングの楽しさを学ぶ。



(2) パソコン分解講座(3 回開講)4～6年生対象

パソコンを分解して構造を学び、さらにハードウェアとプログラムとの関係を学ぶ。AI 技術の発展には双方の進歩が重要なことを理解する。

(3) ロボホン講座(7回開講)4～6年生対象

人型ロボットをプログラミングして、パソコンでのプログラミングとの違いを体感する。

(4) ロボカー講座(4回開講)4～6年生対象

ロボットカーをプログラミングすることで、車の自動運転にセンサーやプログラムが重要なことを理解する。

(5) Microbit 講座(4回開講)4～6年生対象

センサーを搭載したボードコンピューターをプログラミングすることで、センサーで様々な制御を行うことができることを学ぶ。

(6) Python 講座(2 回開講)中学校 1～3 年生対象

ブロック形式と Python とで同一のプログラミングを行い、双方を比較しながら Python の基礎を学ぶ。



参加者実績(9月末)

(単位:名)

講座名	開講数	児童生徒	保護者	計
プログラミング	11	84	58	142
Python	2	3	0	3
パソコン分解	0	10月より開講		
ロボホン	0	10月より開講		
ロボカー	0	10月より開講		
Microbit	0	1月より開講		
計	13	87	58	145

「みんなのページ」 会員のみなさんからの投稿

e-AAC 会員のみなさんが投稿するページです。投稿をお待ちしています。(文字数:600-800 文字程度)

「私の趣味」

理事 田中真澄

私は現役時代、家電メーカーに勤めていました。当時は、日本の家電製品が世界のトップランナーの状態で、特に液晶テレビでは日本各地に生産拠点を展開していた時代です。その業務に従事していた私は、単身赴任がほとんどで業務に忙殺されていました。その中でたまの連休や休みに、家族での旅行が一番の楽しみであり、またビデオカメラで子供たちの成長を撮るのが、私の唯一の趣味でした。退職時には、DVDディスクが20枚近くにもなり、今では我が家の大切な記録となっています。



退職の際に、部門の皆さんから、餞別としてデジタルカメラをいただきました。これをきっかけに、動画から静止画の世界に入っていきました。自分が撮った写真を人に見てもらえるようになると、どのような写真がいいのか？きれいな風景、朝日/夕日の絶景、満開の花々等、思考錯誤する中で、地元の写真クラブで勉強するようになりました。そして、地元の芸術祭に出展するようになりましたが、賞をいただけるまでには、約8年ほどかかりました。写真の魅力は、今日そこでしか出会うことのできない情景を写しとめること。「一期一会」にあると思っています。

これまで、いくつかの写真教室などで学んだ中で、写真を続ける素養として、“知力/気力/体力/財力/眼力”という五つの“力”が必要と教えてもらい、納得した次第です。この“五つの力”を持続けられるまで、いろいろな写真展へ挑戦し、見ていただいた方に、心に残るような写真を撮り続けていきたいと思っています。

「写真撮影・釣り・陶芸を楽しむ」

会員 高木邦夫

現在、私の趣味は写真撮影、釣り、陶芸の3つです。**写真撮影**は高校時代の担任が、通称「婦人科」と呼ばれるポートレート専門のアマチュア写真家だったこともあり、その影響で写真撮影を始めました。卒業旅行で南九州へ行った際には、バスガイドさんをモデルに撮影会を開きました。後年には、そのバスガイドさんを招いて同窓生たちと撮影会を兼ねたパーティーも開催しました。最初は兄のミノルタ SR-1 を借りていましたが、後にキャノン EOS650 を購入しました。もちろん、当時はまだフィルムカメラでした。デジタルカメラが登場してからは、Kiss-X7 を使いましたが物足りなさを感じ、EOS-5D-II を購入しました。しかし、連写枚数に不満があったため、EOS-7D-II を購入しました。このカメラは秒間 10 枚の連写が可能で、孫の運動会で撮影した際にはとても喜ばれました。仕事が忙しく、まったく出かけられない時期もありましたが、若い頃に富士フィルム主催のコンテストで一度だけ入賞したことがあります。また、労働組合の撮影会でもポートレート写真で賞をいただき、トロフィーをもらいました。機材にはこだわりがあり、キャノンのカメラ本体だけでなく、交換レンズやオプションもたくさん購入しました。現在は念願のミラーレスカメラを購入し、時々日干しをしています。



釣りは、義兄に勧められたヘラブナ釣りから始め、その後、海釣りへと趣味が広がりました。河口や堤防でアジやハゼを釣り、唐揚げや南蛮漬けにして晩酌のお供にしています。定年後は義兄と釣りに行くことを夢見ていましたが、義兄が他界したため断念しました。しかし、友人に誘われてタチウオやアオリイカ釣り、海上釣堀にも挑戦し、今では年に 10 回ほど釣りに出かけています。釣った魚は家族に喜ばれ、調理してくれる妻には感謝しています。

陶芸は、若い頃から憧れていた趣味でした。6 年前に OB の飲み会で陶芸同好会の存在を知り、入会しました。ろくろや「タタラ技法」で粘土を成形し、乾燥、素焼き、釉薬かけという工程を経て作品が完成します。焼成温度は、素焼きが 800 度、本焼きが 1230 度と、これまでに経験のない領域です。素焼きは粘土の成形が終わった作品を窯に入れて焼くだけですが、本焼きは釉薬をかけるため扱いが難しく、先輩方の技術に感心するばかりです。これからも体が動く限り、試行錯誤を重ねながら陶芸を楽しんでいきたいと思っています。

「事務局」からの報告

【一言ふり返り】

NPO 法人（特定非営利活動法人）とは？

「特定非営利活動促進法」(1998 年 12 月 1 日施行)に基づいて設立された法人のことで、**営利を目的とせず、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与すること**を目的とする「特定非営利活動」を行う団体に法人格が与えられる制度です。

◆ 目的

主たる目的は、特定非営利活動を行い、社会貢献を果たすことです。活動で収益を得ることは可能ですが、その利益は、団体の活動目的のために使われます。NPO 法で定められている **20 種類**の特定非営利活動分野があります。

◆ e-AAC が登録している主な活動分野

e-AAC が、2005 年 NPO 法人申請の際、登録した特定非営利活動の分野は、No.2, No.3, No.14 です。

1. 情報化社会の発展を図る活動 (No.14)

- 自治体や学校の IT 化(情報化)支援、ICT/GIS の利活用推進
- 地域自治体の IT 化を支援するアドバイス活動

2. 社会教育の推進を図る活動 (No.2)

- パソコン教室やスマホ・モラルの啓発講座の実施
- 学校教育の情報化支援(小中学校の情報化支援など)

3. まちづくりの推進を図る活動 (No.3)

- 行政と地域住民の協働による企画立案と事業支援(e-デモクラシーの推進)
- 地域を元気にする活動

e-AAC は、IT に関する知識や経験を活かし、自治体職員や地域住民と一体となって、地域社会の情報化支援や教育、社会貢献活動を行うことを表明しています。

◆ e-AAC の法人認証・登記の経過

- 法人認証取得:2005 年 12 月 17 日・・・奈良県
- 法人登記完了:2005 年 12 月 19 日・・・奈良地方法務局

◆ NPO 法人団体数 (2025 年 8 月 31 日時点)

- 全国 :49,259 団体
- 奈良県 :492 団体 (e-AAC の登録は 95 番) 参考:奈良県の法人格のない任意団体数:1,388 団体

★編集後記★

上期も第一部会、第二部会のみなさんの精力的な活動のおかげを持ちまして、充実した会報34号として発行できたこと感謝いたします。最近 SNS の世界では、自治体として子供の健全な育成を目的とし、条例で規制していく動きが出てきています。今年 10 月から施行される豊明市の「スマートフォン使用時間の目安を定める条例」は全国初です。スマホ使用時間は2時間以内で小学生は午後9時まで、中学生は午後10時までという家庭でのルールを促すものです。条例ですから全市民対象になります、大人にはなかなか難しいですね。一度、みなさんの使用時間を確認してみましょう。

(e-AAC 編集部)

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。個人・企業・団体・機関の会員を増やします。事務局までご連絡ください。

📌 **正会員・個人会員・賛助会員・自治体会員**

Tel/Fax: 0742-36-8520

e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp

発行

特定非営利活動法人

電子自治体アドバイザー・クラブ(e-AAC)

編集: e-AAC 編集部

ご連絡先 e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp

ホームページ: <https://eaac.sakura.ne.jp/>

